

▶スコアボード▶

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月以降の各種大会の開催は未確定となっています。



発行編集 一般社団法人横浜サッカー協会 同 広報委員会 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-3 DSM新横浜7F TEL(045)474-4315 FAX474-4316 http://www.yokohama-fa.or.jp 印刷 神奈川新聞社 〒231-8445 横浜市中区 太田町2-23 TEL227-0739 FAX227-0785

第22回 日産スタジアム杯

小学生男子の部 泉区選抜
小学生女子の部 港北区選抜
中学生の部 桐蔭学園中学校



第22回日産スタジアム杯少年サッカー大会は、小学生男子の部、小学生女子の部、中



学生の部で行われた。小学生の部は男女共に各区選抜チームによる大会で、そ



れぞれ予選リーグを行い、各リーグの1位チームで決勝トーナメント戦を行った。



平成から令和に代わり初めてとなる第45回横浜少年サッカー大会(市長杯)は1月5日、157チームの選手が日産フィールド小机に集い幕を開けた。

バディールSCが優勝
Jリーガーらが応援に
第45回横浜少年サッカー大会(市長杯)

この開会式での毎年恒例のイベントに今回は横浜出身Jリーガー齋藤功佑選手(横浜FC)、元Jリーガー岩本輝雄選手、阿部翔平選手、日体大フィールド横浜、そして

Y・S・C・C・選手の皆さんにご参加いただき、少年少女選手の代表と楽しくゲームを行った。

今大会も各チームがトーナメント戦を戦い、2月24日横浜スタジアムで準決勝、決勝が行われた。決勝に勝ち進んだバディールSCと横浜F・マリノスPrの戦いは先取点を守り切ったバディールSCが優勝を決めた。3位決定戦は点の取り合いとなり接戦をものにした横浜SCつばさが3位に、帷子SCが4位となった。

▽決勝戦
バディール SC 1-0 横浜F・マリノスPr
▽3位決定戦
横浜SC 4-3 帷子SC
つばさ

声かけあつて...

バディールSC キャプテン 吉岡 杜萌輝

この大会を通して印象に残っていることは、みんながボールをつなぐ意識が高くなり、自分たちのリズムで試合が進められるようになったことです。

決勝戦では全員が集中を切らさずにディフェンスをして、攻撃への切り替えを速くし、相手のディフェンスが整う前にゴールへ向かうことができたと思います。

僕が大会中に心がけたことは、後ろから声を出してチームをまとめることでした。チームがプレーを急いで流れが悪い時には、後ろでゆっくりとリズムを作り直したり、ポジションを整えるように声をかけました。苦しい時でも、みんなが声をかけあつて戦い続けることが出来ました。

チーム全員が攻守にわたり一生懸命プレーしていたからこそ優勝できたと思います。これからの大会に向けて、自分たちの改善点を話し合い、どんな相手でも対応できるようにチームを作り上げていきたいと思っています。チーム全員で戦っていきます。

事業計画決まる

令和2年の新春を祝う横浜サッカー協会の新春サッカーフェスティバルは1月13日、横浜スタジアムにおいて行われた。

この新春フェスティバルは、各委員会がそれぞれ企画したイベントで新春を祝うもので少年委員会の企画による「ガールズサッカー教室」で幕を開けた。ガールズサッカー教室は、なでしこリーグで活躍する

ニッパツ横浜FCシイガルズの選手の指導でパス、ドリブルの練習、そしてシイガルズの選手とのミニゲームで楽しんだ。



新春を祝うフェスティバル
サッカー教室、交流戦など

また、中学生の部は選抜された16チームによるトーナメント戦が行われ桐蔭学園中学校が3連覇を果たした。各部の決勝戦の結果は次の通り。

小学生男子の部
◎小学生男子の部
泉区選抜 1-1 戸塚区
港北区 4-1 中・西区

小学生女子の部
◎小学生女子の部
桐蔭学園 3-0 戸塚
中学校 中学校

バディールSC二度目の栄冠

第43回 全日本U-12サッカー選手権

11月に行われたJFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会・神奈川県予選で優勝した横浜F・マリノスPrが神奈川県第1代表、準優勝のバディールSCが第2代表として

12月26日から鹿児島県で行われた全大会に出場した。共に1次ラウンドを突破し、決勝ラウンドに進んだが、横浜F・マリノスPrは惜しくもラウンド16で敗退。バ

ディールSCは粘り強いサッカーで決勝に勝ち進み、決勝戦も延長戦の末、栄冠を手にした。
神奈川県勢2年連続の優勝となった。

ハーフタイム

2020年は希望に満ちた年となるはずだった。二度目のオリンピック、パラリンピックが日本で開催されることになり、

横浜国際競技場や横浜スタジアムでも世界のアスリートが集い熱戦が繰り広げられることを楽しみにしていた。しかし、中国の武漢から広まった新型コロナウイルスは世界中に広まり、2月3日には大型クルーズ船が横浜港に到着したものの船内感染が判明し、そこからはテレビや新聞等で国内のみならず世界中に情報も広まっていった。残念ながら収束のめどがつかず、政府もテレワークや時差出勤の拡大、スポーツ・文化イベント開催自粛、小中高などへの臨時休校要請と動き出した。また、Jリーグ、プロ野球も開催延期を決め、春の高校野球も中止となった。そして、世界保健機関(WHO)が世界的大流行(パンデミック)を宣言し、世界中のスポーツ大会も中止、延期の運びとなった。また、IOC会長も「中止や延期はWHOの勧告に従う」と発言していたが、一年程度延期となった。そんな中、横浜市も教育委員会連連を受けて、3月中旬活動中止となり市内の運動施設、学校開放による運動場も使用禁止となった。本来は「屋外での適度な運動は妨げるものではない」と文科省も伝えているのに、こういふ時こそ何が大事でどう行動したらよいか一人ひとりが収束に向けて判断を問われているのかもしれない。(K)

2020年度 事業計画

- サッカーに係る試合の主催及び公式記録の作成に関する事業 (定款第4条第1号)
 - 令和2年度キッズ大会
令和2年6月27日(土)、9月26日(土)、令和3年2月27日(土) 3回
 - 第23回選抜少年サッカー大会(マリノス杯)
令和2年3月28日(土)、3月29日(日)、4月4日(日) 3日間
 - 第4回横浜選抜少年サッカー大会(ニッパツ横浜FCシールド杯)
令和2年7月5日(日)、11日(土)、12日(日) 決勝は別途 3日間
 - 第46回横浜少年サッカー大会市長杯
令和3年1月9日(土)～3月7日(日)
 - 第47回横浜春季少年サッカー大会
令和2年4月12日(日)～6月28日(日)
 - 第52回横浜国際ピッチサッカー大会
令和2年9月13日(日)～11月29日(日)
 - 2020横浜18区代表U11サッカー大会
令和2年11月2日(日)、3日(祝)
 - 第55回市長旗争奪ジュニアサッカー大会
令和2年4月1日(水)～6月21日(日)
 - 2020 Y.F.A.サマーフェスタ
令和2年8月
 - 第7回すずらん少女サッカー大会
令和2年11月3日(祝)、11月8日(日)
 - 第28回カトレア杯少女サッカー大会
令和2年8月30日(日)、9月13日(日)、22日(祝) 3日間
 - 第31回横浜少年サッカー大会
令和3年3月20日(土)、21日(日)
 - 2020年度YOKOHAMAレディース大会
令和2年4月26日(日)～11月23日(祝) 5回
 - 令和2年度市民リーグ社会人の部
令和2年5月～3年3月
 - 令和2年度市民大会社会人の部
令和2年5月～3年3月
 - 令和2年度市民マスターズサッカー大会
令和2年4月～3年3月
 - シニア新春サッカーフェスティバル
令和3年1月10日(日)
 - シニア親善サッカー大会
令和2年4月～令和3年3月
 - YOKOHAMA 2020ピッチサッカーフェスタ
令和2年8月1日(土)、2日(日)
 - 2020 Y.F.A.ママさんフットサル大会
令和2年12月12日(土)
 - 第1回ガールズカップU15
令和2年12月12日(土)、13日(日)
- サッカーに係る団体の登録に関する事業 (定款第4条第2号)
 - チーム登録
登録数 社会人:90 少年:172 シニア:46 女子:3 ジュニアユース:26
中体連・J連盟チーム等:7 計344チーム
 - 個人登録費(四種のみ対象)
登録数 8,500人
- サッカーの指導者等の養成に関する事業 (定款第4条第3号)
 - コーチングセミナー(D級養成)
令和2年11月21日、22日(2日間)
 - 審判員の実技研修会
令和2年予定(3日間)
 - 指導者養成 基調講演会
令和2年11月
 - 審判員の観戦研修会
令和2年市民大会決勝戦予定
 - 4級審判員の強化育成事業(3級審判員推薦事業)
令和2年4月～11月(8ヶ月で2名を推薦)
- サッカー技術の向上に関する事業 (定款第4条第4号)
 - ゴールキーパー講習会
令和3年3月
 - トレセン事業(少年/少女/ジュニアユース/中体連)
令和2年4月～令和3年3月
 - ジュニア競技力向上事業
令和2年4月～12月
 - 第45回神奈川県選抜少年サッカー大会への参加
令和2年12月12日(土)、13日(日)、20日(日)
 - 第40回神奈川県選手権U-12への参加
令和2年7月18日(土)、19日(日)、23日(祝・木)
 - 第12回神奈川県選手権U-10への参加
令和2年7月18日(土)、19日(日)、23日(祝・木)
 - 第18回神奈川県8人制サッカー大会兼8人制関東大会予選への参加
令和2年12月5日(土)、6日(日)
 - 第11回神奈川県地域交流大会への参加
令和2年9月
 - 第15回神奈川県地域対抗サッカー大会への参加
令和2年11月
- サッカーに係る広報及び普及に関する事業 (定款第4条第5号)
 - 広報誌の発行
印刷部数 2,000部 発行時期 年3回
 - サッカーフェスティバルの開催
令和3年1月11日(祝日)
 - シニア・レディースサッカースクール
令和2年4月12日、5月10日、6月14日、7月12日、9月20日、10月11日の日曜日 計6回
 - 生涯サッカー教室の開催
令和2年4月～3年3月 昼間開催 15回
- サッカーに係る地域間交流に関する事業 (定款第4条第6号)
 - 第59回日朝親善サッカー大会
令和2年10月31日(土)
 - 日韓ジュニアサッカー交流大会
令和2年7月3日(金)～6日(月)(日時未定)
 - 日韓シニア交流大会
(予定) 令和2年7月18日(土)～20日(月)
 - 横浜招待少年サッカー大会
令和2年12月5日(土)、6日(日)
 - 横浜招待少女サッカー大会
令和3年1月30日(土)、31日(日)
 - 横浜招待シニアサッカー大会
令和3年2月6日(土)、7日(日)
 - シニア地域交流大会
令和3年3月(日時未定)
 - ねんりんピッチ
令和2年10月30日(金)～11月3日(火) 本大会
 - Y.C.C.との交流案
- サッカーの試合会場の提供に関する事業 (定款第4条第7号)
令和2年4月～3年3月
- サッカーに係る試合の運営受託に関する事業 (定款第4条第8号)
 - 受託事業
令和2年4月～3年3月
Jリーグ・Jリーグカップ・天皇杯・国際試合・関東大学サッカーリーグなど
その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第4条第9号)
 - スポーツ施設の管理運営受託に関する事業 (定款第4条第9号)
 - 運営受託事業
令和2年4月1日～3年3月31日
しんよこフットボールパークの管理運営受託(集客業務含む)
 - その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第4条第10号)
 - 横浜市民のスポーツ文化に対する助成事業
(1)横浜大会に対する後援・協力事業
・マリノスカップ、MHF横浜カップ、朝日新聞サッカー教室等の後援。
・日産スタジアム、ニッパツ三ツ沢球技場及び三ツ沢陸上競技場等で開催される各種大会に役員を派遣し、運営に協力する。
・市内各種大会へ審判を派遣し協力する。

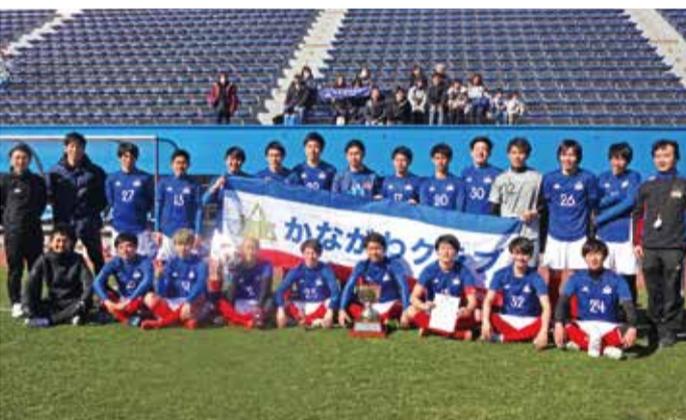


高学年の部 バディールSC
低学年の部 SCH・FC
第46回神奈川県少年サッカー選手権

日産カップ争奪第46回神奈川県少年サッカー選手権は高学年485チーム、低学年460チームが参加して行われた。1月12日から32ブロックの予選トーナメントが始まり、2月16日に中央大会に勝

- ち進んだベスト4のチームで決勝、3位決定戦が横浜スタジアムで行われた。高学年は横浜勢の対決となりバディールSCが昨年に引き続き2連覇を果たした。低学年の部はSCH・FCが優勝した。
- 横浜勢の成績は次の通り。
- 高学年の部
優勝 バディールSC
準優勝 横浜F・マリノス
 - 低学年の部
優勝 SCH・FC
第3位 バディールSC
第4位 横浜すみれSC

今年の雪辱晴らす!!
かながわクラブが優勝
2019年度横浜市民大会



快晴の2月11日、ニッパツ三ツ沢球技場で2019年度横浜市民大会決勝戦が行われた。昨年度大会と同じくIrumation045対かながわクラブの対戦となった。昨年は大差で敗れたかながわクラブが3-2で勝利し、見事に昨年の雪辱を晴らし優勝の栄冠に輝いた。

応援に駆け付けたチーム関係者や家族とともに喜びを分かち合った。

快晴の2月11日、ニッパツ三ツ沢球技場で2019年度横浜市民大会決勝戦が行われた。昨年度大会と同じくIrumation045対かながわクラブの対戦となった。昨年は大差で敗れたかながわクラブが3-2で勝利し、見事に昨年の雪辱を晴らし優勝の栄冠に輝いた。

優勝
40の部 横浜シニア
50の部 Y.S.C.C.50
2019年度マスターズ大会

昨年4月から始まった第33回の市民マスターズ大会は、40の部・3グループ(17チーム)、50の部・3グループ(18チーム)で展開。平成から令和へと年号が変わる中、令和2年2月12日に、ニッパツ三ツ沢球技場に於いて、40の部、横浜OB対横浜シニアと、50の部、Yクラブ50対Y.S.C.C.50の決勝戦が開催され、各カテゴリーの優勝が決まった。

40の部ではなんと四年連続

横浜トレセン・A
連覇ならず
横浜少女招待大会

第4回横浜招待少女サッカー大会は、1月25日、26日の2日間にわたって横浜スタジアム、しんよこフットボールパークで行われた。

この大会は横浜からトレセンの4チームが参加し、東京埼玉、神奈川県下の選抜20チームを招き、計24チームが参加して行われた。大会は4チーム6ブロックに分かれて予選リーグを行い、各ブロックの1位チームと6ブロック

の審判活動における疑問点等について熱心な討議が行われ、審判技術の向上に役立つ研修会となった。

同じカードの決勝戦となり、昨年は接戦の末、横浜OBに譲った優勝を横浜シニアが横浜OBの連覇を阻み、9-2の大差で雪辱を果たした。50の部のYクラブ50対Y.S.C.C.50の試合は、2対2で、PK戦(5対2)による決着となりY.S.C.C.50が、2年連続優勝を果たした。

最終結果は、40の部では2位は横浜OB、3位はFCニコニコ40とブリッツ横浜、50の部は、2位がYクラブ50、3位はかながわクラブ50とF・神工50に決まった。

3位決定戦は行わず2チームが3位となった。

今年の60の部は9チームによるフレンドリナリーグ戦方式で27試合が行われた。



法人会 員 一 覧

横浜マリノス(株)	横浜食品開発(株)
神奈川新聞社	JFE東日本ジーエス(株)
(株)横浜シミズ	(株)横浜アーチスト
	(有)フリースタイル

Y.F.A.スーパーキッズサッカー大会が2月22日、しんよこフットボールパークで合同チームを含め、38団体、45チーム520名を超える元気なちびっこが参加して行われた。

この催しは幼児が楽しみながらサッカーの技術向上と心身の健全な育成を図ることを目的とし、キッズサッカーの普及に努めるものである。回を重ねるごとに参加する子どもたちも増え、ファイトあふれるプレーが見られた。

元気いっぱい!
キッズサッカー大会